

お子さんとふれあう時間を 「家族TIME増量中！テレビTIME減少中！脳は活性化中！」 ～長浜アピール行動プロジェクト(NAAP)会議より～

市教育委員会では、市民や企業、行政、学校などで構成する「長浜アピール行動プロジェクト会議」(略称NAAP(ナーブ)会議)を立ち上げ、子どもたちの豊かな心を育てる教育のあり方を考えています。子どもたちの心を育てるためには、想像力や感情などをつかさどる脳の「前頭連合野」を活性化させることが必要といわれています。

そこで、NAAP会議では、脳の活性化のためには、子どもたちが多くの人とふれあいをもち、愛情豊かな家庭生活を送ることが大切と考え、「家族TIME増量中！テレビTIME減少中！脳は活性化中！」をキャッチコピーのもと、保護者を対象に昨年からの運動を展開してきました。

テレビの視聴時間やゲームをする時間を決める

親子で一緒に本を読んだり、遊んだりする時間を持つ



親子で活動して楽しかったエピソードや親子読書にふさわしい本の紹介をする



その結果、次のような意見(一部要約)をいただきました。

家の中でもかくれんぼをしたり、歌ったりし、食事をつくるときも、子どもができそうな作業を残して一緒に作ったりしています。休日は自然が沢山ある所や体を動かせる広場に家族で出かけるようにしています。遊具がなくても、子どもはその中でたくさんの発見をし、自由に遊んでいます。その結果、平日はテレビを見なくなり、子どもと接する時間が増えました。

休みの日には、夕食前に家族ですごろくをしています。年齢差があっても楽しめます。

家族との会話を増やすため、夕食時はテレビをつけないようにしています。

幼稚園の父親サークルで子どもとの「ふれあい遊び」を企画し実施しました。実施前に我が家でリハーサルをし、大いに盛り上がりました。

NAAP公開会議

～幼稚園や小学校での取り組み事例を紹介～

《とき》9月14日(木)午後7時から
《ところ》長浜市民交流センターふれあいホール
《内容》

- ・市内幼稚園や小学校での取り組み事例を発表
- ・今後のNAAP活動について

家族での時間を増やすためのアイデア募集中

するようになって家族の時間が増えた、家族で盛り上がる遊びなど、「家族TIME増量中」に役立つアイデアを引き続き募集しています。

お問合せは、市教育委員会学校教育課(☎6551)、生涯学習課(☎6552)へ。

子どもを犯罪の被害から守るための条例要綱案 に意見・提案をいただきました

(仮称)「長浜市子どもを犯罪の被害から守る条例」の制定にあたり、条例案に対する意見を7月1日から1か月間、募集したところ、たくさんの意見・提案をいただきました。今回は、その一部と市の考え方を紹介します(内容ごとに整理し要約しています)。なお条例案は、9月の市議会に提案予定です。

条例全般

「安全で安心なまちづくり条例」など上位条例をつくる。

市では、すでに「長浜市防犯の推進に関する条例」を制定していますが、今回は、子どもが被害者となった事件を教訓に、子どもを犯罪の被害から守る取り組みをさらに進めるためのものです。

条例名の「犯罪の被害から」の文言は不要では？
何から子どもを守るのかを明確にするために「犯罪の被害から」としています。

人を監視し、子どもをがんにがらめに管理するような条例にはしないほしい。

本条例は、子どもが豊かな自然と家庭や地域のぬくもりのなかで、夢や希望を抱きながら健やかに育つことを願って制定するもので、そのための責務や役割および施策を定めています。

市の責務

市や教育委員会は指示・強制的にならない。
条例は規制や縛りをかけるものでなく、保護者や住民の自主的な取り組みを支援するものです。

保護者の責務

自分の子どもは自分で守る。自己防衛を教える。まずは大人がしっかりする。
保護者は子どもを社会人として厳しく育てる。
保護者は子どもを守る第一義的な責任があるという認識で子育てをしていただき、市は相談など必要な支援を充実させたいと考えています。

地域住民の役割・自主活動の支援

農作業や買い物、配達、犬の散歩等の用事を登下校時にあわせることで、子どもたちを見守る。多くの人に「防犯パトロール」のタスキ、腕章等をつけてもらうことで防犯意識が高まる。
自分の子だけでなく、近所の子も見守る。
ふだんから子どもとあいさつする環境を作る。

防犯には、防犯に特化した活動だけでなく、日常の近所づきあいや助け合い、地域活動が必要です。地域で実情にあった取り組みを検討・実施いただき、市も必要な支援を行っていきます。

学校等の責務・学校の安全

防犯ベルを支給する。
児童・生徒全員に防犯ベルを配布しています。
各種団体にスクールガード(見守りボランティア)の協力を呼びかける。
すでに各学校から地域に呼びかけていますので、ご協力をお願いします。

子どもたち自らが問題を解決できるよう教育する。
子ども自身が自分を守るためのプログラム(CAP)を取り入れる。
安全教育は、子どもたちの成長にあわせて実施しており、その一つとして自ら判断し行動できる子を育てるプログラムも検討していきます。

通学路の安全

子どもたちが安心できる通学路を選ぶ。
通学路は、安全面を考慮しながら学校と保護者が協働で選定しており、危険箇所についても適宜対応していきます。

相談体制の充実

保護者への子育て支援に力を入れる。
犯罪や虐待は孤立から生まれる。悩みを相談できるよう保護者間で話ができる場を増やす。
親子と接する機会の多い保健センター・地域子育て支援センター・保育園・幼稚園等での子育て相談の充実に努めます。また、地域内で相談できるよう、民生委員・児童委員や子育てボランティア、母子福祉推進員などに協力を求めています。

紙面の都合上、一部の意見を紹介していますので、くわしくは市ホームページをご覧ください。
お問合せは、市防災安全課(☎6557)へ。